



高知の城下町 ため知識〔郭中編〕



高知の城下町を最初に整備した人は誰ですか？

江戸時代の初めに、山内一豊が整備しました。

郭中の東西南北の範囲はどこまでですか？

東は堀詰、西は升形、南は鏡川、北は江戸ノ口川です。

郭中にはどのような人が住んでいましたか？

家老をはじめ、土佐藩の上級武士が住んでいました。

郭中には、何軒くらいの武家屋敷がありましたか？

江戸時代の終わり頃には約380軒ありました。

郭中はどのような特色の地域ですか？

お城があって、土佐藩の役所や学校もあって、上級武士が暮らす土佐藩の政治の中心地です。

城下町(郭中)の
スタンプを押そう！

表紙航空写真：高知市承認28情報第575号

歩こう！ 楽しもう！

高知の城下町

郭中編

準備はOK?
城下町探検に
出発しよう!

平成29(2017)年4月

高知県立 高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History

高知城歴史博物館の正面入り口(北側入り口)から出て、
おうてすじ
追手筋を東の方にながめた風景です。

江戸時代、この通りは、参勤交代の大名行列が通った通りで、
道の両側には、土佐藩の役所や藩校、家老の屋敷などが並んでいました。

このパンフレットで紹介する博物館のまわりの地域は、
江戸時代には「郭中」とよばれた城下町の中心地でした。
現在のまちを歩きながら、江戸時代の風景を思い描いてみましょう。

ここは追手筋！
江戸時代の
メインストリートです。

このパンフレットには、城下町を探検する時に役立つヒントがたくさんあります。



美出(現在のクラフト通)から、東方面を見たとこ。江戸時代終りの頃の風景が想像されます。江戸時代には、土佐藩の正月の恒例行事「御取初」がこの通りで行われ、当日は朝から夕方まで、騎馬武者が通りを駆け抜けました。

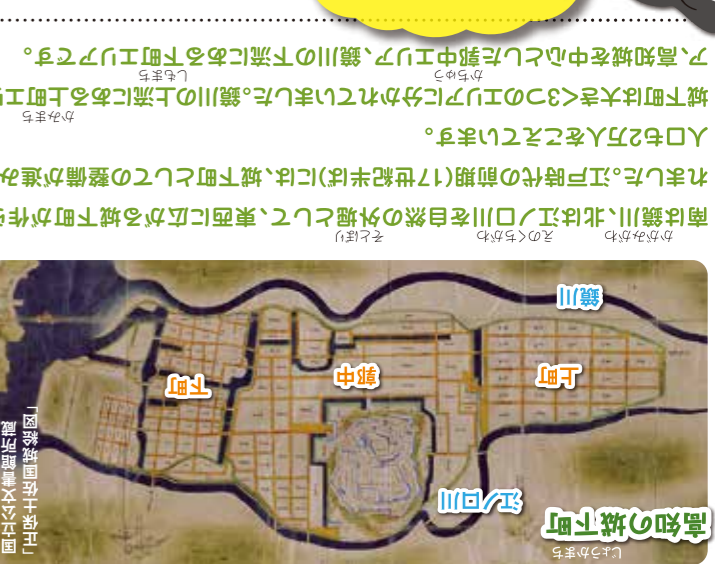
明治10年代(1877~1886年頃)の本町筋



郭中の上町・下町の間は堀で仕切られ、郭中の内部は「筋(東西の道)」と「通(南北の道)」によって、整然と区画(都市整備)されています。郭中には、家老や中老といった土佐藩の重臣をはじめ、上級武士たちが居住しています。お城を囲むように武士の屋敷が建ち並び、お城に近いほど有力な家臣の屋敷が建っていました。(地図中のオレンジ色の●印は、右上の写真の撮影場所と撮影方向です)



この絵を見て、現在と江戸時代と、同じところ、違うところを探してみてください。



南は鏡川、北は江戸ノ口川を自然の外堀として、東西に広がる城下町が作られました。江戸時代の前期(17世紀前半)には、城下町としての整備が進み、人口も2万人をこえています。

城下町は大きく3つのエリアに分かれています。鏡川の川上にある上町エリア、高知城を中心とした郭中エリア、鏡川の川下にある下町エリアです。

高知の城下町は川や堀で区別されていたんだね！

この地図は「寛文七年高知図」(1667年)を参考にして、平成12(2000)年時点の町区画と重ねて作成したものです。旧町名を「旧町名保存伝承事業」の対象とされた昭和11(1936)年から住居表示実施直前までの町名を記しています。江戸時代の町名とは異なるものがあります。

※この地図は「寛文七年高知図」(1667年)を参考にして、平成12(2000)年時点の町区画と重ねて作成したものです。

旧町名を「旧町名保存伝承事業」の対象とされた昭和11(1936)年から住居表示実施直前までの町名を記しています。

江戸時代の町名とは異なるものがあります。

この地図は「寛文七年高知図」(1667年)を参考にして、平成12(2000)年時点の町区画と重ねて作成したものです。

江戸時代の町名とは異なるものがあります。

お城下には石碑がたくさんあるよ!

なんの石碑が、いつ、誰によって、建てられているか、確認してみよう! 正面はもちろん、横や後ろも見てみよう!

やまうちようとう たんじょうち

A **山内容堂 誕生地**

山内容堂が生まれた場所です。とさはん、はんしゅ、ばくまつしげんこう、土佐藩の藩主で、幕末四賢侯の一人として有名です。

よしたどうよう きねんのち

B **吉田東洋 記念の地**

吉田東洋が殺害された現場の近くにあり、幕末に藩の政治改革を行った人です。

たけちはんべいた(すいざん) さいごのち

C **武市半平太(瑞山) 最期の地**

武市半平太が処分を受けて切腹した場所です。土佐勤王党を組織した人で、剣の達人でした。

いたがきたいすけ たんじょうち

D **板垣退助 誕生地**

板垣退助が生まれた場所です。「板垣死すとも自由は死せず」の言葉は有名です。

ごとうしようじろう たんじょうち

E **後藤象二郎 誕生地**

後藤象二郎が生まれた場所です。大政奉還を山内容堂にすすめて、実現させた人です。

ふくおかたかちか たんじょうち

F **福岡孝弟 誕生地**

福岡孝弟の生まれた場所です。こかしょう、せいもん、五箇条の誓文の作成に関係した人です。

城下町探検の記録 年 月 日

マップを参考に、郭中エリアを探検してみよう! 気づいたこと、きょうみを持ったことをメモしよう!

.....

.....

.....

.....

気になったものを、絵に書いて記録に残そう!

探検の準備はOK?

- 1 地図、筆記用具、消しゴム、カメラなどを持っていると便利です。探検する時は、車やバイクに十分注意してね。水分補給も忘れずに!
- 2 探検した写真の に印をつけると、行った場所がわかりやすいよ!

1

野中兼山屋敷跡

江戸時代の前期に、土佐藩の奉行職として活躍した野中兼山の屋敷があったところ。お堀の内側に屋敷がありました。

2

追手筋

江戸時代のメインストリートです。当時の道幅はどれくらいだったのか、発掘調査など、今後の調査が期待されます。

3

北会所ならびに教授館跡

北会所は、地域の政治を行う土佐藩の重要な役所でした。江戸時代中期には、藩校教授館も設置され、武士の教育を担いました。

4

深尾弘人屋敷跡

「ひろめ市場」という不思議な名前は、幕末の土佐藩の老家深尾弘人に由来しています。当時、ここに屋敷がありました。

5

南会所跡

南会所は、武士に関することや、裁判・教育に関することを扱った土佐藩の役所です。幕末、たけちはんべいた(すいざん)、武市半平太(瑞山)は南会所の揚屋に入られ、最期を遂げました。

6

筆頭家老深尾家の屋敷跡

土佐藩の筆頭家老深尾家の屋敷があった場所です。この屋敷には、正月の御取初の際に、藩主が騎馬武者を見学するための2階建ての御櫓がありました。

7

江戸時代の堀と関係してる?

現在、ホテル三翠園とNTT高知南ビルの東側に、斜めに走る道路があります。もしかしたら、江戸時代の堀の場所や造りと関係があるかもしれません。

8

重要文化財 山内家下屋敷長屋

山内容堂の下屋敷(散田邸)に残る長屋です。山内家下屋敷の警護をつとめた足軽の詰所に使われていました。

